

ポイ捨てはやめて!



プラスチックボトルの分別方法を知っていますか?

分別収集できるプラスチックボトルは次のとおり表記されているものが対象です。プラスチックボトルを出す時は次の手順をお願いします。

- 1 キャップやポンプの部分は外す**
外したキャップなどは、燃やせるごみで出してください。
- 2 中を水洗いする**
中が汚れたままではリサイクルできません。
- 3 プラスチックボトル専用の白色ネット袋に出す**

近くの集積所に白色ネット袋がない場合は支所などの拠点回収場所に出してヤン!

○対象
ポトルラベル
キャップ
プラボトルマーク

可燃ごみ搬出量
現在、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分しています。ごみの量に応じてごみ処理費用を負担することになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。

測定月	収集量
平成 30 年 7 月分	1,113t
令和元年 7 月分	1,119t (前年比 6 t 増)

子どもたちの安全を守るためにこんなことをしています!

学校や教育委員会では

- スクールガードリーダー(警察OB)や高島警察署と連携した交通安全教室や防犯教室
- 不審者を想定した避難訓練
- 高島警察署との不審者情報の共有や連携強化
- 通学路の安全点検と関係機関による対策案の協議・実施

地域や高島警察署では

- 高島警察署による、通学路や集合場所の見守り活動
- スクールガードや見守り隊の皆さんによる、子どもたちの登下校の見守り活動



交通事故や不審者による被害から子どもたちを守るため、保護者やスクールガード、地域住民の皆さんに通学路や交差点で見守り活動を行っていただいています。

子どもたちを登下校時や地域での活動時に見かけた際は、温かいまなざしで見守りをお願いします。一人でも多くの皆さんのご協力をお願いします。

子どもたちに温かいまなざしを!

安全安心

交通事故発生状況

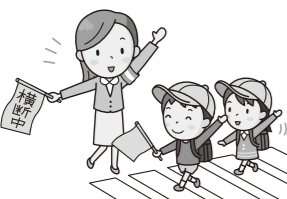
国 高島警察署 ☎(22)0110

(令和元年7月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	58件	+14件
死者数	2人	+1人
傷者数	69人	+15人

発生場所	件数
マキノ	5件
今津	15件
朽木	2件
安曇川	12件
高島	8件
新旭	14件

*概数



火災・救急・救助件数

国 消防総務課 ☎(22)5401

(令和元年7月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	1件	9件
車両	0件	0件
林野	0件	1件
その他	0件	6件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	15件	105件
一般負傷	36件	241件
急病	151件	1035件
その他	45件	222件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	2件	11件
水難事故	0件	0件
その他	1件	8件

環境放射線測定結果

国 原子力防災対策室 ☎(25)8133

7月平均値(平日測定) 前月平均値

マキノ(マキノ支所前駐車場)	0.062 μSv/h	0.061 μSv/h
今津(今津支所車庫付近)	0.035 μSv/h	0.035 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場)	0.061 μSv/h	0.060 μSv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場)	0.049 μSv/h	0.044 μSv/h
高島(高島支所東側駐車場)	0.051 μSv/h	0.051 μSv/h
新旭(高島市役所本館北側玄関前)	0.065 μSv/h	0.048 μSv/h

*測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
*通常の値はおおむね0.2μSv/h以下です。

地域の安全と安心を支える
消防団活動

8月4日、猛暑の中、東近江市の滋賀県消防学校で開催された第54回滋賀県消防操法訓練大会へ激励に伺いました。

高島市消防団は、ポンプ車の部において、朽木分団が11チーム出場のなか見事3位に、また、小型ポンプの部では、新旭第1分団が15チーム出場中8位に入賞されました。

選手の皆さんは、5月から本業を持ちながら、日夜、訓練を積んでいただき、見事に市の予選を勝ち抜き、県大会においてもそれぞれ磨き上げられた消火活動における基本動作の正確さ、速さ、団員の安全確保やチームワークなど、素晴らしい操法を披露していただきました。出場された消防団の皆さんならびに関係者の皆さん、大変お疲れ様でした。

また、11月13日、横浜市で開催される第24回全国女性消防操法大会へ激励に伺いました。

会に滋賀県代表として、高島市女性消防団員が出場されます。

出場される選手の皆さんはもちろんのこと、関係者におかれましてはご協力をお願いいたします。

昨今の地球規模の温暖化による影響で、極端な高温、豪雨などが引き起こされ、高島市においてもその影響は免れない状況です。そのような中で、日頃から火事や水害など有事の際の消防活動はもとより、行方不明者の捜索活動などにおきましても11分団に編成された514人の消防団員のご活躍が市民の安心と地域の大きな支えとなっています。

消防団活動にご興味のある方はぜひ、高島市消防団にご加入いただければ幸いです。

福井正明

市長雑記

